



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	コンテンツツーリズムにおける観光地評価の構築プロセスに見る異なる立場のせめぎあい : アニメ『けいおん!』聖地「豊郷」で起きた「楽器盗難事件」に対するSNSのコメント分析から
Author(s)	釜石, 直裕; 岡本, 健
Description	発表要旨 第4回観光・余暇関係諸学会共同大会, 2012年6月30日, 東洋大学 白山第2キャンパス.
Relation	第4回観光・余暇関係諸学会共同大会予稿集, p.5
Issue Date	2012-06-30
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/49592">https://hdl.handle.net/2115/49592</a>
Type	conference paper
File Information	20120630proc_kamaishi.pdf



コンテンツツーリズムにおける観光地評価の構築プロセスに見る異なる立場のせめぎあい  
—アニメ『けいおん!』聖地「豊郷」で起きた「楽器盗難事件」に対する SNS のコメント分析から—

日本国際観光学会 釜石 直裕 (北海道大学)  
n.kamaishi@gmail.com  
日本観光研究学会 岡本 健 (京大文教大)  
t-okamoto@po.kbu.ac.jp

キーワード：コンテンツツーリズム、観光地評価、SNS

1. 背景と目的

社会の情報化が進むにつれ、インターネットを通じた観光情報の発信や受信が一般化してきている。中でも、コンテンツツーリズムにおけるCGM的な情報流通では、「観光目的地と関わりの無い他者」の影響が介在しているということが先行研究によって示されている(岡本, 2011)。

ただし、先行研究が明らかにしたことは、地域に関する情報がどのように流通しているかということのみであり、そのような情報を得た人がどのような評価をし、それを発信するか、という部分が明らかになっていない。

本稿の目的は、観光目的地に関する情報を得て、それについて評価をし、その評価を発信する人々の様態を明らかにすることである。

2. 方法

2.1 アニメ聖地巡礼と楽器盗難事件の経緯

滋賀県犬上郡豊郷町にある豊郷小学校旧校舎群は、アニメ『けいおん!』の舞台としてファンから認知され、アニメ聖地巡礼が行われている。

2010年11月17日未明、豊郷小学校旧校舎内に置かれた楽器などのキャラクターグッズと現金の入った金庫が盗難に遭った。そして、この事件が新聞やインターネットを通じて報道され、アニメファンを中心にインターネット上で様々な議論が展開されていった。

2.2 分析対象と方法

分析対象として、SNSにおけるユーザーの日記を用いた。そして、日記のタイトル及び本文に書かれた内容を元に、発信者による評価を分類した。

3. 結果

3.1 データ数

得られデータは、373 であり、そのうち有効なデータは 352 であった。

3.2 日記のコメント内容と発信者の立場

日記のコメント内容の分類と予想される発信者の立場を図-1 に整理した。

コメントの分類	具体的内容	発信者の立場
①犯人に対する怒り	こんなことをするやつは許さない	「けいおん!」ファン 豊郷ファン
②犯人像の予想	これだからアニオタは...	アニメファンではない
	これだからけいおん厨は...	アニメファンだが「けいおん!」ファンでない
	こんなことをするやつがファンのはずがない!	「けいおん!」ファン 豊郷ファン
③自分の立場に対する危機	オタクは肩身が狭くなる	アニメファンだが「けいおん!」ファンでない 「けいおん!」ファン 豊郷ファン
	もう豊郷に行けなくなる	豊郷ファン
	関係者の方にお見舞い申し上げます	豊郷ファン
④豊郷に対する心配		

図-1 コメント分析の結果

4. 考察

コメントの内容から、評価を発信する人々の中には、少なくとも4つの立場が存在することが予想され、それぞれの立場の間では事件への評価のせめぎあいが見られた。例えば、アニメファンの中でも、特定の作品を好む者とそうでない者がおり、両者はそれぞれ異なる評価を発信している。

5. まとめ

本稿では、コンテンツツーリズムにおける、「観光目的地と関わりのない他者」の中にも、いくつかの立場が存在し、その立場に応じて、観光目的地に対する評価が異なることが明らかになった。

また、本研究の今後の展開として、観光目的地側がこうした様々な立場の評価をどのように解釈し、活用していけるか明らかにすることが挙げられる。

■ 主要参考文献

岡本 健 (2011) 「コンテンツツーリズムにおける地域からの情報発信とその流通」『観光・余暇関係諸学会共同大会学術論文集』, 3, pp. 37-44.